

科目名	経営管理論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修	■ 選択
			法律学科	□ 必修	■ 選択
			国際学科	□ 必修	■ 選択
英文表記	Business Management	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年		
ふりがな	いしかわ まさはる	開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中		
担当者名	石川 雅敏	実務家教員担当科目	○	修得単位	2 単位
実施方法		■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用			
授業のテーマ	組織を合理的に管理するために、組織管理の基礎理論を理解する。				
到達目標	<p>企業では目標を達成するために多くの人が集まって協力し合うことが必要になる。そのために企業は組織を管理していく必要がある。この講義では、組織管理について基礎的な知識を修得する。</p> <p>この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。</p> <p>1) 企業における組織管理を行う目的や理論について基礎知識を修得できます。</p> <p>2) 企業における組織管理の実体を知ることができます。</p>				
授業概要	経営管理論の史的展開、人間的展開、および、今日的展開を学びます。				
授業計画					
第1回	イントロダクション				
第2回	今日の企業制度				
第3回	現代の企業経営とマネジメント				
第4回	テイラーの科学的管理論				
第5回	ファヨールと管理過程学派				
第6回	人間関係論				
第7回	管理過程論の発展				
第8回	モチベーション理論の展開				
第9回	リーダーシップ論の理論的展開				
第10回	人的資源管理				
第11回	職場のコミュニケーション				
第12回	組織の活性化				
第13回	パワーの枠組みと諸理論				
第14回	非営利組織の管理				
第15回	まとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	<p>1. 授業前に教科書の該当箇所必ず目を通す。分からない用語は調べてノートにまとめる。(1時間程度)</p> <p>2. 日頃から日本経済新聞やそのほかの経済誌に目を通し、経済の動きに親しむ。(0.5時間程度)</p>				
履修条件 受講のルール	<p>遅刻は5分以内まで。それ以上は出席と認めません。</p> <p>いかなる理由でも5回以上欠席したら試験は受けられません。履修取消しです。</p> <p>毎回質問を出します。必ず出席カードに答えを記入して提出下さい。</p> <p>私語・スマホは厳禁です。</p>				
テキスト	「第三版 現代の経営管理論」 佐久間信夫、坪井順一編著、学文社				
参考文献・資料	<p>講義資料 (Power Point 資料) は事前にポータルサイトに掲載します。</p> <p>各自でダウンロードして、PC またはタブレットで閲覧しながら、講義を聞いてください。</p>				

成績評価の方法	毎回の質問に対する回答の提出（50%）、定期試験（50%） ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	毎週水曜日・金曜日 13:00～15:00 *これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	自身の会社経験や日本経済新聞の記事を用いて、ビジネス事例を説明します。
学生へのメッセージ	組織がどのように管理されているのかを理解しておくことはとても重要です。また、組織の管理という点からは、役所も企業も共通する点もあります。経営管理の基礎を一緒に学びましょう。